

第1部  
舞踏会へ  
ようこそ!

チャイコフスキー: 歌劇《エフゲニー・オネーギン》より「ポロネーズ」  
バッハ: G線上のアリア  
J.シュトラウスII世: 美しく青きドナウ

第2部

チャイコフスキー  
バレエ《くるみ割り人形》

<夏休みコンサート2026版>

第3部  
みんなで  
歌おう

だれにだってお誕生日  
「にじ」(新沢としひこ・作詞、中川ひろたか・作曲)  
勇気100%

日本フィル杉並公会堂シリーズ

# 日本フィル 夏休み コンサート 2026

指揮

©Masaaki Tomitori

広上 淳一

バレエ

©Hasegawa Photo Pro.

スターダンサーズ・  
バレエ団

お話と  
うた

江原 陽子

2026

7/22(水)

14:00開演 [13:15開場]

杉並公会堂 大ホール

楽しいイベントも  
盛りだくさん♪

♪開場時にウェルカムイベント  
♪終演後に出演者・楽団員との  
こんだん会&サイン会

日本フィルハーモニー交響楽団

管弦楽

チケット  
(全席指定)

大人 S席4,200円 A席3,100円 B席2,000円  
子供 S・A席2,000円 B席1,000円  
※4歳未満はご入場できません。チケットはお1人様1枚をご用意ください

チケット  
発売日

杉並公会堂チケットメンバーズ  
(オンライン) 4月21日(火)11:00  
一般(電話・オンライン) 4月22日(水)11:00  
窓口 4月23日(木)11:00

※決済手数料と発券手数料はチケット購入者負担  
※杉並公会堂チケットオンラインにて完売の場合、電話予約・窓口販売なし  
※[杉並公会堂チケットメンバーズ]は[杉並公会堂チケットオンライン]でのチケット予約に限り有効な会員  
制度につき、電話等での予約の場合は会員特典を適用いたしかねます  
※[杉並公会堂チケットメンバーズ]への登録代行、お客様の機器を使っての予約代行はいたしかねます  
※車椅子席・介助者席をご希望の方はお電話にてお問合せください

※公演中止以外でのチケット料金払い戻しはいたしません ※公演内容は予告なく変更となる可能性がございます ※託児サービスがございます。詳細は裏面をご覧ください

チケット取扱

杉並公会堂チケットオンライン

杉並公会堂チケットセンター(電話・窓口)  
03-5347-4450(11:00~18:00 休館日を除く)

主催: 日本フィル杉並公会堂シリーズ実行委員会 共催: 杉並区



# 特別な夏の思い出をつくろう! 日本フィル夏休みコンサート2026

1975年からスタートし、今年で52回目を迎える大人気の《日本フィル夏休みコンサート》が今年も杉並公会堂にやってくる!

今回はスターダンサーズ・バレエ団との共演でチャイコフスキーの三大バレエのひとつ、

「くるみ割り人形」を2026年スペシャルバージョンでお届けします。

そして、広上淳一さんの指揮による日本フィルの迫力あふれるサウンドと、

江原陽子さんの美しい歌声、ステキなお話して、オーケストラの魅力をたっぷりお届けします!

最後には、一緒に歌って踊れるプログラムで、子どもから大人まで120%楽しめます。

今年の夏は杉並公会堂《日本フィル夏休みコンサート2026》で、特別でかけがえのない思い出をつくりましょう!

## 指揮

ひろかみ じゅんいち  
広上淳一

東京生まれ。尾高惇忠にピアノと作曲を師事、音楽、音楽をすることを学ぶ。東京音楽大学指揮科卒業。26歳で第1回キリル・コンドラシン国際青年指揮者コンクールに優勝。以来、フランス国立管、ベルリン放響、コンサートヘボウ管、モントリオール響、イスラエル・フィル、ロンドン響、ウィーン響などメジャー・オーケストラへの客演を展開。これまでノールショピング響、リンブルク響、ロイヤル・リヴァプール・フィル、コロンパス響のポストを歴任。近年では、ヴァンクーヴァー響、ライブツィヒ・ゲヴァントハウス管、ミラノ・ヴェルディ響、サンクトペテルブルク・フィル、バルセロナ響、モンテカルロ・フィル、ラトビア国立響等へ客演。国内では全国各地のオーケストラはもとより、サイトウ・キネン・オーケストラ、水戸室内管にもたびたび招かれ絶賛を博している。2008年より14年間にわたって京都市交響楽団常任指揮者を務め、輝かしい時代を築いた。15年には同団と共にサントリー音楽賞を受賞。日本フィルハーモニー交響楽団では1991年～2008年まで正指揮者を務め、現在フレンド・オブ・JPO(芸術顧問)。また、オーケストラ・アンサンブル金沢アーティストティック・リーダー、マレーシア・フィルハーモニー管弦楽団音楽監督、札幌交響楽団友情指揮者、京都市交響楽団広上淳一を兼務。さらに、東京音大指揮科教授として教育活動にも情熱を注いでいる。2024年第75回芸術選奨文部科学大臣賞受賞。



©Masaaki Tomitori

## お話とた

えばら ようこ  
江原陽子

東京藝術大学声楽科卒業。4歳より(公財)ソルフェージュスクールでピアノを始め、ソルフェージュ、作曲、室内楽等音楽の基礎を学ぶ。大学在学中よりEテレ『うたって・ゴー』歌のおねえさんとして出演。1991年より日本フィル「夏休みコンサート」に歌と司会で出演する他、都響、東京シティ・フィル、仙台フィル、九響等のコンサートのナビゲーターとしても活躍。各地で絵本読み聞かせコンサートも開催。洗足学園音楽大学教授/(公財)ソルフェージュスクール講師。



## バレエ

スターダンサーズ・バレエ団

太刀川瑠璃子を代表として1965年に創設。1981年に日本のバレエ団として初の財団法人化を果たした。創立当初からナショナルバレエの創造を活動の柱とし、日本人振付家による数々のオリジナル作品を生み出す一方、海外の優れた振付家の作品紹介にも力を注ぎ、古典から現代作品まで日本初演作品を含む世界水準のレパートリーを保持している。国内公演のほかドイツ、中国、韓国などでの海外公演の実績も多く、2019年にはパリのJapanExpoにおいて「バレエ・ドラゴンクエスト」を上演し好評を博した。また、学校巡回公演やワークショップを通して子どもたちがバレエに触れる機会を幅広く提供しているほか、障がいのある方が気軽に鑑賞できるリラクスパフォーマンスや、パーキンソン病患者のためのダンスプログラムに取り組むなど、社会と広くかかわる活動も積極的に行っている。2025年に創立60周年を迎えた。



©Hasegawa Photo Pro.

## バレエ演出・振付

すずき みのる  
鈴木稔

1983年に渡米し、ニューヨークのチェンバー・バレエ団、コロラド・バレエで公演に参加。93年スターダンサーズ・バレエ団バレエ・マスターに就任する。現在、同バレエ団常任振付家として活躍し、「バレエ・ドラゴンクエスト」「くるみ割り人形」「迷子の青虫さん」など多くの作品の演出・振付を手がけている。99年文化庁在外研修員としてフランクフルト・バレエ団にて研鑽を積む。2002年にはドイツのハイルブロン市立劇場に招聘され「MISSING LINK」を上演し、成功を収める。振付家としての活動が評価され、これまでに日本バレエ協会振付奨励賞、音楽舞踊新聞村松賞、芸術選奨文部大臣新人賞、橘秋子賞特別賞を受賞。令和5年度(第74回)芸術選奨において文部科学大臣賞を受賞した。

## 管弦楽

日本フィルハーモニー交響楽団

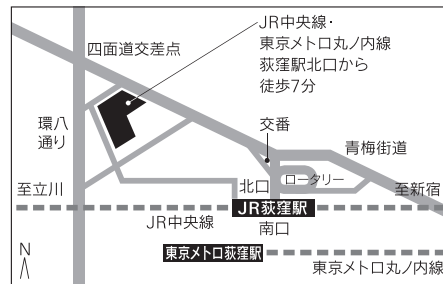
1956年6月創立。楽団創設の中心となった渡邊暁雄が初代常任指揮者を務める。創立当初より幅広いレパートリーと斬新な演奏スタイルで、ドイツ・オーストリア系を中心としていた当時の楽壇に新風を吹き込み、大きなセンセーションを巻き起こした。その意欲的な精神は脈々と受け継がれ、2023年9月より首席指揮者を務めるカーチュン・ウォンとともに、独創性と真摯さに裏打ちされた音楽づくりで注目を集め、近年の高い演奏力と積極的なプログラミングは「21世紀の日本のオーケストラが目指すべき方向を明確に示す」と評価され、ミュージックペンクラブ音楽賞を受賞している。桂冠名誉指揮者小林研一郎、桂冠指揮者兼芸術顧問アレクサンドル・ラザレフ、フレンド・オブ・JPO(芸術顧問)広上淳一という指揮者陣を中心に年間約150回のオーケストラ公演を行っている。東日本大震災の直後、2011年4月から続く「被災地に音楽を」の活動は360回を超え、2016年には後藤新平賞を受賞。杉並公会堂を本拠地とし、芸術性と社会性を両輪に、「温かさ」「人に寄り添う」土壌を大切にしながら、あらゆる人々へ、世代へ、地域へ、世界へ、音楽の持つ様々な力を社会に活かしていくことを目指している。2026年に創立70周年を迎える。



©飯田耕治

オフィシャル・ウェブサイト <https://japanphil.or.jp>

X(旧Twitter)@Japanphil Instagram@japanphil.official



## 託児サービス

TEL:0120-788-222(平日10~12時、13時~17時)まで直接お申し込みください。  
託児料金(税込)0歳児~1歳児3,000円/  
2歳児~12歳2,000円

※託児サービスの受付締切は1週間前ですが、定員になり次第締め切らせていただく場合がございます。